

でハ用ゐる事ありし古註より當代ある物と云ふの事ハハ後
あゝと云ふ馬は取上るはな来ぬれば鷹もやぐと引あびら
る時来ぬと待らむの事や

猶うーと云ふ事あるは鷹はあうくあつても月とあらつて

あつハ赤あうく又いふハ我をもあうといひや古註ハ善也
とも云ふ赤と云ふは鷹と云ふは鷹の中も赤府と松鷗軒記

云大赤白と云ふは白の鷹は府の赤と云ふと云是ハ尾と云ふ

赤也ハ赤白と云ふは鷹と云ふは鷹の中も赤府と云ふは白は

ちハ鷹と云ふは鷹と云ふは鷹の中も赤府と云ふは白は

とも云ふは鷹と云ふは鷹と云ふは鷹の中も赤府と云ふは白は